

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市通町児童館		
2 指定管理者	特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘		
3 指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日		
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・ 令和3年度 16,301人（前年度比 100.1%） ・ 令和2年度 16,278人 ・ 令和元年度 24,974人		
	《事業》 ・ 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業		
5 収支の状況	《費用》		()は前年度決算額
	・ 指定管理者に支払った費用	37,174千円 (34,055千円)	
	・ その他市が負担した費用	0千円 (0千円)	
	《収入》		
	・ 使用料収入	0千円 (0千円)	
	・ その他収入	0千円 (0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ・ 利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者会を実施。		

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ブログの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場を整え、学校を中心に各関係機関と連携して育成支援に取り組んでいる。また、乳幼児親子向けの行事開催や交流の場の提供により子育て家庭を支援すると共に、小中高生に対して、発達段階に応じた遊びの指導や活動支援を行っている。今年度においては地域との交流事業が多く休止されたが、日頃の情報交換や様々な工夫を凝らした事業で地域連携の保持に努めている。	18/18

三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘）による自己評価》
<p>児童館の役割と「みんなで作る児童館・子どもの文化を大切に」を新たな視点でとらえ事業展開した。</p> <p>■児童健全育成 5歳児から中学生、特別支援学級の子どもが応募した「イラストコンクール」や「謎解き・なぞなぞ問題募集」など、児童館に来なくても子どもの個々の力を発揮し遊ぶことができる「機会」作りを行った。少人数でも役割を見直して実施した「こどものまち」は、子どもの手で2ヶ月かけて準備し大いに盛り上がった。</p> <p>■子育て家庭支援 申し込みを取らず、日々の自由来館で楽しめる設定で、彩りバルーンの日、太鼓がいっぱい、布の絵本、人形ぬいぐるみデー、楽器とキーボード、地域からのおさぎりの会などを実施した。全館使用のハロウィンや駐車場で「映え写真・鬼さんと一緒」は通りすがりの若者や親子連れにも好評だった。</p> <p>■地域交流促進 地域から寄贈の2,000個の折鶴を活用、乳幼児親子や子どもが作成した七夕飾りをコミュニティセンターや保育園・商店など6ヶ所へお届けした。干し柿作りは市民センターの手を借りレシピ付きで1,200個を地域に配布、保育園幼稚園の協力で「食育・おやつ、幼児期に食べさせたい食事」を館便りに連載中。二つの市民センターの発表会へ子どもの作品120点を展示、他館6館との「ベタング交流会」にも参加した。</p> <p>■児童クラブ 子どもの遊びや行動、心持ちの把握に努めた。小学校との連携を確認し強化、校庭をお借りし発散できるよう外遊びを増やした。少人数やじっくり遊べるおもちゃの導入や生活の見直し、玄関に子どもの写真や作品を掲示・保護者からの多くの相談には、家庭とつながりともに考える丁寧な対応を心がけた。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に係るまん延防止重点措置や宮城県・仙台市緊急事態宣言、宮城県緊急特別措置などの発令があったが、児童クラブに関しては、年間を通して受け入れを行った。この間、小学生や乳幼児親子の自由来館などは一部休止していたが、解除後も小学生の自由来館は土曜日のみ、乳幼児親子は平日午前のみと制限のある再開となった。年間を通して、感染症対策のための参加人数の制限や環境の工夫を行うなど様々な配慮と努力をしながらの児童館運営だった。</p> <p>児童健全育成事業においては、「イラストコンクール＝こんな生き物居たらいいな」「謎解き・なぞなぞ問題募集」は来館せずに子どもの遊びや個の持つ力を生かせる活動の場となった。この新たな取り組みにより、これまで児童館を利用した事がない児童の参加が多く見られた。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、自由来館の乳幼児親子の満足感を高める事をねらいとして、いろいろバルーンの日、太鼓がいっぱいなど様々な設定をして自由来館増加促進に努めた。また、「びよびよ広場」は季節の行事を中心に様々なプログラムを提供しており乳幼児親子を支援するための環境作りに努めている。</p> <p>地域交流推進事業においては、恒例の「通町こどものまち」の開催で低学年も担当を持ち異学年が協力しながら主体的な活動の場となった。その他、永昌寺の柿の地域配布や七夕飾りなど対面での交流が難しい中、これまで培ってきた関係機関や地域の方々との関係性をもとに新たな交流も生まれ地域交流の拠点としての役割を担っている。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、感染症対策と遊び、生活に変化をつけるために新たな遊びの時間を設定した。豊富な材料を使ってクラフトや折り紙などに夢中で取り組んでいる。この造形活動を通して子ども達の豊かな感性を育んでいる。また市民センターの展示会に出展した作品を保護者に見てもらい達成感や自己肯定感を得る機会につながった。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課